

広報 なかやま

Vol.2

I アイラブ

中山

秋香る濃厚すもも

「秋姫」

今が旬



出荷を待つ「秋姫」(昨年、海外輸出時)



間もなく収穫間近。出来は上々。写真右から、期待膨らむJAやまがた豊田果樹部会すもも部今田才和部長(柳沢)、渡辺聡副部長(小塩)、鈴木雄馬副部長(金沢)



町の魅力を再発見!

中山町には、魅力的な場所やもっと知って欲しい良いモノなどがたくさんあります。このコーナーでは、そんなまちの魅力をお知らせしていきます。

中山町は言わずと知れた東北有数のすももの産地で、毎年20種類以上ものすももが生産されています。中でも正に今、最盛期を迎えている「秋姫」は糖度が高く、その大きさや、独特の食感と色のかわいらしさから贈答用として大変お勧めです。JAやまがたでは、この秋姫のおいしさを海外にも広げようと、昨年、中山町

のすももとしては初めて海外(香港)に輸出しました。これは、中国人の秋の祭日である「中秋節」に合わせたもので、当初30ケースが発送され、その後、好評によりさらに30ケースを追加発送しています。今年もこの勢いに乗りさらに量を増やして輸出する予定とのことです。中山町の味は海を超え海外でも愛されています。

火渡りに挑戦! (18ページに関連記事)



今月の主な内容

- 特集：認知症を学ぶ P 2~7
- 渡邊東英さんが快挙! P 8~9
- お知らせ版 P 20~23

2016 平成28年 9 No.744



先月のブラジル・リオデジャネイロでのオリンピックは、多くの感動とスポーツを通して希望という光を与えてくれた。日本の金・銀・銅のメダル数は史上最多の41個、すばらしい結果であり、選手の方々に感謝の気持ちで「ありがとう」の感謝の気持ちでいっぱい。数あるドラマの中で、陸上女子5000m競走で、ニエジーランドと米国の選手が接触し転倒した場面は、定れることのない「ゴールしよう」との声掛け、順位を決定するレース以上に五輪精神を見せてくれた場面であり、これがたかくなり、それに加えてこのレースで予選敗退となった二人に対して決勝レースへの参加を認めた主催者に金メダルをあげたい気持ちになりました。

五輪閉幕後の8月29日、わが町は学校法人日本体育大学と「スポーツ推進・健康づくりに関する協定」を締結しました。36年前に制定された町のキャッチフレーズ「スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやまは、町づくりの根幹となる道標であると信じている私にとって、これからの相互連携による活動は、スポーツを通して子どもたちに大きな夢を与え、高齢者の健康寿命を延ばし、活気ある町になると期待しています。スポーツ基本法の序文には、「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と、謳ってあります。和辻哲郎氏は、「文明とは、とりたての野菜にサラダ油をかけて食べることであり、文化とは、とりたての野菜を漬物桶の中に何日もつけて、「こく」という隠し味を出して食べる、この隠し味のことを文化という」と言っています。漬物桶の中に何日もつけ、時刻の「一刻」をかけることで、味に「こく」すなわち隠し味を出すことなのであり、この隠し味のことを文化である、と、結んでいます。文化をつくるには、町民一人一人の意志の結集が必要となるのです。

中山町長 佐藤 俊晴

スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま

お知らせ版 NAKAYAMA TOWN INFORMATION (毎月1日・15日発行)

平成28年9月15日号

発行 中山町 〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地
編集 政策推進課地域情報グループ
電話 (023)662-2223 (直通) FAX (023)662-5176
中山町公式ホームページ <http://www.town.nakayama.yamagata.jp>
〔広報なかやま〕〔お知らせ版〕はホームページでもご覧になれます。

ご意見用メールアドレス joho@town.nakayama.yamagata.jp
こちらのQRコードからも取得できます。

